

# 2024ルール改正点

2024 スポーツ大会監督会議資料

## 【代替プレイヤー】

1. 試合中、プレイヤーが出血した場合、ただちに止血などの処置を行わなければならない。出血したプレイヤーはその処置が完了するまで試合に戻ることはできず、その処置が完了するまで臨時的に代替プレイヤーを使用することができる。
2. 負傷発生時、ラインアップに入っているプレイヤー以外であれば、どのプレイヤーでも代替プレイヤーになることができる。（すでに試合から退いたプレイヤーでもよい）ただし、違反により退場・除外となったプレイヤーは代替プレイヤーになることは出来ない。
3. 代替プレイヤーは、出血の処置のため一時的に退いたプレイヤーに代わり、そのイニングから次のイニングの終了までプレイを継続することができる。
4. それ以上の新しいイニングに入るときには、正しい交代者と交代しなければならない。正しい交代者がいない場合には没収試合となる。
5. 代替プレイヤーとしての試合への出場は、正式な交代と異なり、試合出場や再出場の権利を妨げない。
6. 血液の付着したユニフォームを着用してはならない。また、地面、用具などに付着した血液も完全に払拭しなければならない。
7. 血液の付着したユニフォームを交換する場合、ユニフォームナンバーが変更されても止むを得ない。
8. 出血の処置が完了した場合は、いつでも試合に戻るることができる。ただし3項に示す期間を経過して試合に戻る場合は、再出場のルールが適用され、再出場の資格を持たないプレイヤーは試合に戻ることはできない。
9. 代替プレイヤーを使用するときは、必ず球審に通告しなければならない。

**10. (新設) 頭部外傷(死球時、送球時、走塁時、守備時、いかなる場合でもあっても)が発生した場合、代替プレイヤー使用することができる。**

### <効果>

- (1) 代替プレイヤーとして出場する資格のないプレイヤーを出場させた場合は、再出場違反として扱われ、再出場違反の<効果>が適用される。その他さらに該当する違反行為が重複して行われた場合は、その違反に該当する項目のペナルティが適用される。
- (2) 代替プレイヤーを無通告で出場させ、相手チームからアピールがあった場合は、無通告交代としてその<効果>が適用される。
- (3) 試合から退いていたプレイヤーを無通告で試合に戻し、相手チームからアピールがあった場合は無通告交代として扱われその<効果>が適用される。

(注) 代替プレイヤールールの対象となるのは、代替プレイヤーとして試合に出場するプレイヤーと、試合から退いていたプレイヤーが試合に戻るときである。

## 【タイプレイク】

タイプレイクを採用する場合、本年度からタイプレイク開始時の二塁走者を間違えた場合、相手チームからアピールがあった場合、ペナルティが科されることとなります。

したがって、審判などから、どのプレイヤーが二塁走者になるかは伝えないので注意が必要です。

### <ルール>

無死・走者二塁を設定して攻撃を継続する。二塁走者は前の回の最後に打撃を完了したものとし、打者は前回から引き続き正位打者（正しい打順の打者）とする。

### <効果>

二塁走者に間違った走者をだした場合、相手チームからアピールがあった場合、正しい走者がアウトになる。

☆以下、本ルールが適用される場合のQ&Aです☆

Q1 アピールプレイの対象となるのはいつか？

A1-1 投球動作に入った時

Q1-2 もし先頭打者が初球を本塁打した場合、アピール権がなくなってしまうが、それでも良いか？

A1-2 間違ったランナーはもはや塁にいないため、アピールはできない。投球が行われるか、得点が入るまでは、走者は正式にゲームに参加しません。本塁打の場合、二塁に置かれた走者が誰であるかは、本塁打に関与していないので、実際に問題ではありません。

Q2 アピールの対象となる走者は誰か（誰がアウトになるのか）？

A2 ~~間違っ~~て出た2塁~~（正規）~~の走者がアウトになる（2024/04/08 訂正）

Q3 アピールアウトになった走者はどうなる？

A3 アピールアウトだが失格選手とはならない

Q4 アピール権が消滅するのはいつか？

A4 二塁走者が本塁を踏んだ時

Q5 アピールアウト後の再開はどうなるのか？

A5 一死、走者無しで再開する。